

レベル2地震動適応製品

下水道マンホール用耐震性継手 <拡張バンド方式>

スペーサージョイント

NIII



—— 安心と信頼をお届けする ——

株式
会社

信明産業

<http://www.shinmei-ri.co.jp/>

あらゆる管種に対応します。

V字二重筒状構造の本体ゴムと、独自の断面形状を有する中押しリングの組合せによりマンホールと本管接合部を地震から守ります。
 抜群の止水性能は、地下水を汚染しない環境に優しい継手です。

レベル2地震動に適應

レベル2地震動に適應する性能としては、屈曲角1°かつ管軸方向±60mmの変位が生じても、外水圧0.10MPaおよび内水圧0.05MPaに耐える水密性を有します。

優れた可とう性

- 【鉛直方向の屈曲変位】……………15°(リブ管では10°)
- 【管軸直角方向の変位】……………±20mm(リブ管では±10mm)
- 【管軸方向の変位】……………±60mm

耐久性の優れた素材

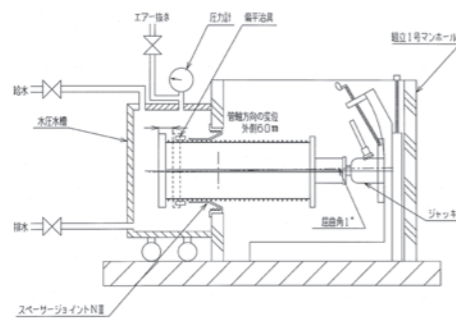
- 本体ゴム材質EPDMは、耐候性・耐薬品性に優れ、物理的性質はJIS K 6353 水道用ゴム IV類規格に準ずるものです。
- 中押しリング・締付バンドとも、SUS材を使用しています。

施工性

- 短時間で取付けが可能です。(即埋め戻しが可能です)
- 雨天でも施工可能です。(接着剤・シール剤は不要)
- 取付作業は専用治具を使用しますので、初めてでも簡単に取付けできます。

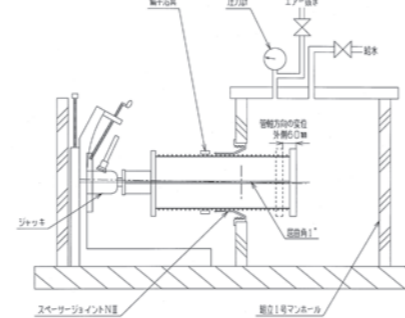
レベル2地震動のテスト状況

【外水圧試験】



変位量(屈曲角1°かつ外側60mm)に移動し、外水圧0.10MPaを保持する。

【内水圧試験】



変位量(屈曲角1°かつ外側60mm)に移動し、内水圧0.05MPaを保持する。

【技術の概要】

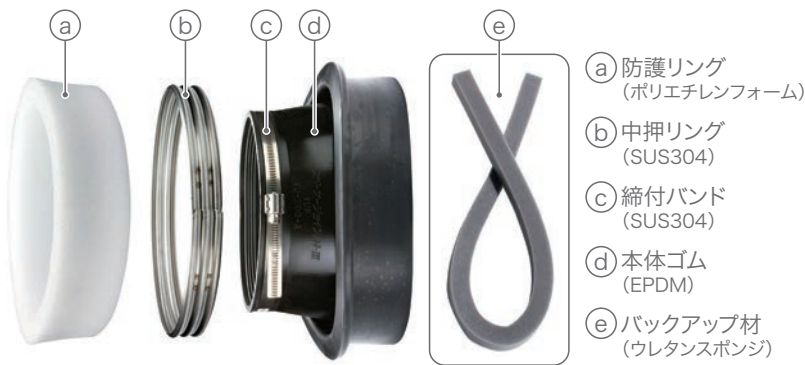
この継手は本体ゴム、中押しリング、締付バンドおよび、防護リングで構成され、可とう性、耐震性および、施工性を有しています。マンホールへの装着は、専用の拡径治具を用いて中押しリングを拡径し、本体ゴムをマンホール削孔内面へ押し込みます。本管との接続は、本管を本体ゴムへ挿入し、締付バンドで締め付けます。

【製品寸法表】

管種	呼び径	NⅢ名称		適用削孔径	管外径
		曲面対応品	平面対応品		
硬質塩化ビニル管	100	VU-100-A	—	210	114
		VU-100-B	—	206	
	125	VU-125-A	VU-125-AF	262	140
		VU-125-B	VU-125-BF	252	
	150	VU-150-A	VU-150-AF	262	165
		VU-150-B	VU-150-BF	252	
200	VU-200-A	VU-200-AF	314	216	
	VU-200-B	VU-200-BF	304		
250	VU-250-A	VU-250-AF	366	267	
	VU-250-B	VU-250-BF	356		
300	VU-300-A	VU-300-AF	420	318	
	VU-300-B	VU-300BF	410		
リブ管	150	PRP-150-A	PRP-150-AF	262	171
		PRP-150-B	PRP-150-BF	252	
	200	PRP-200-A	PRP-200-AF	314	228.8
		PRP-200-B	PRP-200-BF	304	
	250	PRP-250-A	PRP-250-AF	366	286.2
		PRP-250-B	PRP-250-BF	356	
300	PRP-300-A	PRP-300-AF	420	343.6	
	PRP-300-B	PRP-300-BF	410		
鉄筋コンクリート管	150	HP-150-A	HP-150-AF	314	202
		HP-150-B	HP-150-BF	304	
	200	HP-200-A	HP-200-AF	366	254
		HP-200-B	HP-200-BF	356	
250	HP-250-A	HP-250-AF	420	306	
	HP-250-B	HP-250-BF	410		

※削孔は適応削孔径にあわせてください。削孔のくぼみや段差は補修してください。
 ※内目地にバックアップ材をご利用下さい。





取付手順 削孔は適応削孔径にあわせてください。

マンホールへの取付 (塩ビ管・ヒューム管・リブ管共通)

① 削孔面の清掃及び確認

削孔面のホコリ等をウエスでふき取ります。**くぼみや段差がある場合は補修してください。削孔径が適正か確認して下さい。**

② 本体ゴムをセット

本体ゴムの↑印を上にしてストッパー位置まで押し込みます。**セット後筒部をマンホール内に折り返します。**

③ 専用治具をセット

中押リングが定位置に有ることを確認し、取付用治具4箇所ツメを中押リングにセットします。

④ 中押リング拡張後の状態

中押リングがロックしたらOKです。先端部分の凸凹が合っていることを確認します。

【現場作業】<塩ビ管・ヒューム管>

⑤ 本管セット

本体ゴムの筒部を外側に戻し、締付バンドをセットします。防護リングを本管に預け、本管を挿入してください。

⑥ バンドの締付

締付バンドを締めます。**ボックスレンチ等でしっかり締めてください。(締付トルク: 5~7N・m)**

⑦ 防護リングのセット

防護リングを隙間に挿入してください。本体ゴムの保護および、可とう部が土砂等で埋まらないようにします。

【現場作業】<リブ管>

⑤ 本管セット

止水ゴムリング(付属品)

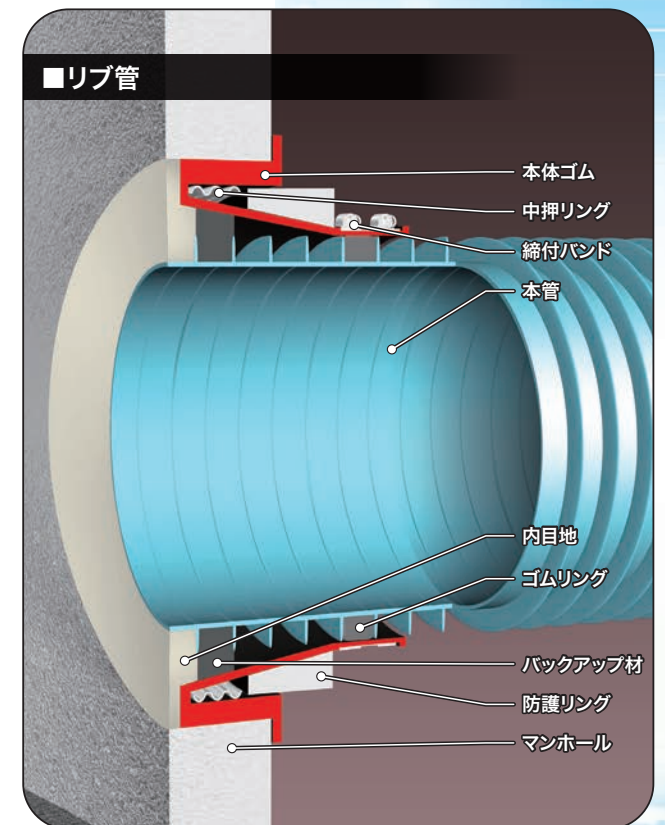
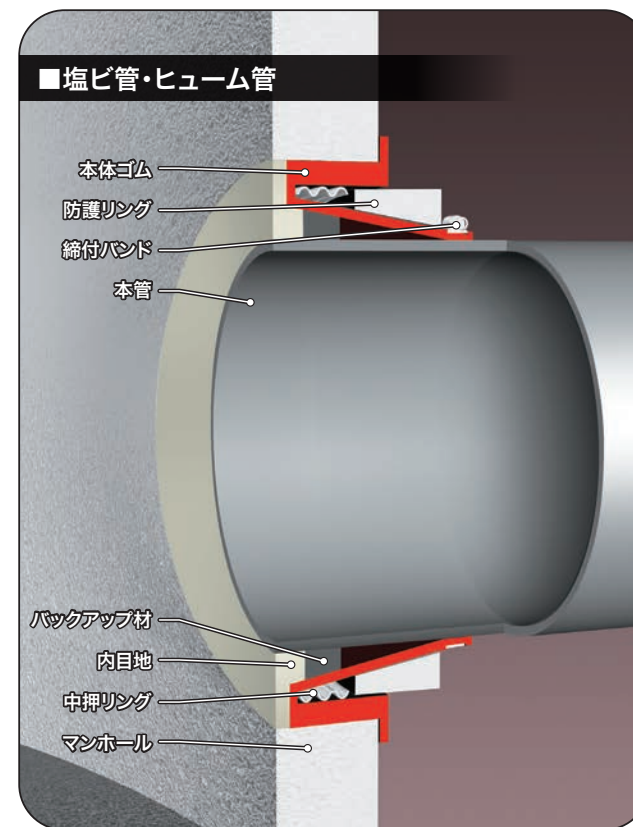
本体ゴムの筒部を外側に戻し、締付バンドをセットします。防護リングを本管に預け、本管を挿入してください。止水ゴムリング(付属品)が締付バンドの位置にくるようにセットして下さい。

⑥ バンドの締付

2本の締付バンドは、交互にしっかりと締めます。**ボックスレンチ等でしっかり締めてください。(締付トルク: 5~7N・m)**

⑦ 防護リングのセット

防護リングを隙間に挿入してください。本体ゴムの保護および、可とう部が土砂等で埋まらないようにします。



【取付歩掛表】

呼び径	150	200	250	300
塩ビ管	0.05人	0.06人	0.07人	0.08人
リブ管 ヒューム管	0.06人	0.07人	0.08人	0.09人

※施工手順①~⑧を連続して作業した場合の1ヶ所あたりの目安です。

⑧ バックアップ材の挿入

本体ゴムと本管の間にバックアップ材を挿入します。

★本管の位置決め

本管の位置決めにはキャンバー等使うと便利です。**(キャンバーは別売)**

下水道管路用耐震シリーズ製品

マンホール用耐震性継手

【WIDEジョイント】

VU400~600 PRP700~2000 HP500~2000

【スペーサージョイント SR】

VU300~500 PRP/HP/HC300~450

【スペーサージョイント DR】(推進管用 内付けタイプ)

V150~600 HP-D250~3000 RS200~700

取付け管用可とう支管継手

【メカロック支管】

VU/VP150~300×100~150 HP/CP/HC200~250×100~150

【FL支管】

HP500~ ×VU150・200(本管×取付管) HP-D350~ ×VU150・200(本管×取付管)

マンホール用止水バンド

【SUバンド】

可とう性継ぎ手用 弾性目地材

【スペーサー・ソフトメジSS】

マンホール浮上防止対策工法



【WIDE セフティパイプ工法】

公益財団法人 日本下水道新技術機構
「新技術研究成果証明書」取得

株式
会社

信明産業

【本 社】(東京営業部)

〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センタービル531号
<TEL>03-3767-4300 <FAX>03-3767-4310

【大阪営業所】

〒561-0822 大阪府豊中市三国1-3-20 サカエビル
<TEL>06-6333-2010 <FAX>06-6333-2022

【新潟営業所】

〒954-0214 新潟県長岡市中条新田1402番地
<TEL>0256-97-4771 <FAX>0256-98-3525

【新潟工場】

〒954-0214 新潟県長岡市中条新田1402番地
<TEL>0256-97-4984 <FAX>0256-98-3525

※このカタログに記載の寸法・仕様などは、製品改良などにより予告なく変更する場合があります。

1703-3T